

## 市民参加の手法に関する意見交換

## 資料2

本市では、市政運営における最も基本となる上位規範として草津市自治体基本条例を制定し、その基本原則の一つとして「市民参加」を謳っています。市政運営においては、市民の有する多様性が尊重され、それを踏まえた市民参加が推進されることが重要です。

現在、市民がより積極的に市政に参加できるよう、必要な手続きについて規定している「草津市市民参加条例」に基づき、市民参加の対象事業については、アンケート調査や審議会の設置、パブリックコメントの実施等、様々な市民参加の手法を実施しているところです。

今後さらなる市民参加を推進するため、市民参加の新たな手法により、さらに多様な市民の声をお伺いすることが重要になってきます。また、今後（仮称）市民総合交流センターにて実施予定の、お互いさまプロジェクト（ラウンドテーブル）を実施する予定です。

第2次草津市協働のまちづくり推進計画の策定にあたり、実施した「課題共有型地域円卓会議」や「L I V E市民フォーラム」での課題等について整理し、今後の制度設計の参考とします。



課題共有型地域円卓会議



L I V E市民フォーラム

### 参加者の声(アンケート結果より)

#### 地域円卓会議

- ・参加者の話し合う時間が少なかった。
- ・会議ではなく、報告会みたいであった。
- ・ホワイトボードのまとめがわかりやすく、発言者の発言内容が理解しやすかった。
- ・問いが1つなので答えにくかった。
- ・協働についての勉強になりよかった。
- ・課題に分けて集まるのもよいと感じた。
- ・論点が分かりづらかった。

#### L I V E市民フォーラム

- ・3人1組で話しやすかった。
- ・初めて会う方と話せてよかった。
- ・言葉で理解できても、実践は難しい。
- ・地域でも実施できたら良い。
- ・身近な問題が共有できてよかった。
- ・和やかな雰囲気良かった。

## (仮称) お互いさまプロジェクト

(仮称) 市民総合交流センターでは、行政や中間支援組織が中心となり地域課題の解決を図るための“対話”による「意見交換の場」ならびに「気づき、学びの場」となるラウンドテーブル(円卓会議)を開催予定です。

各主体の関わりを生み出しながら、フラットな立場での意見交換を行い、課題解決の対応策や協働事業の実現を目指します。



より多様な市民の意見を伺うためには、どのような実施方法が良いのか、地域円卓会議やLIVE市民フォーラム等の課題を参考に、留意すべき点等について検討が必要

### 1 募集

- ・地域からの課題・要望・提案を聞き出すには？
- ・窓口(事務局)になる主体は？



◆見える化するためには

### 2 企画

- ・相応しい実施時期とは？
- ・特に効果が得られる事業とは？
- ・相応しいテーマ設定とは？
- ・ファシリ等関係者の見つけ方とは？

◆事前準備の注意点

### 3 周知

- ・効果的な呼びかけ、周知方法とは？
- ・伝えるべき情報とは？(5W3H)



◆参加したい人に情報を届けるためには

### 4 実施

- ・話しやすい雰囲気づくりのためには？
- ・全員が参加者意識を持つためには？
- ・意見を共有するためには？
- ・さらに交流を深めるためには？



◆効果的でスムーズな運営のためには

### 5 実施後

- ・協働事業や課題解決への対応策等の実現
- ・参加者同士が関わり続けるためには？
- ・話し合い結果の共有は？

◆アフターフォローですべきこと